

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

学期	項目 (学習課題)	学習内容・学習活動	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度	評価資料
	<p><b>第5章 近代(後半) 二度の世界大戦と日本</b>  <b>■章の問い■ 「近代化」が進展した日本で、世論が求めたものは何か。</b></p>	<p><b>&lt;第2部第5章のねらい&gt;</b>                      ①第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。                      ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。                      ②戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。                      ②近代後半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現させる。                      ③近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p><b>&lt;第2部第5章の評価規準&gt;</b>                      ①第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。                      ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。                      ②戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。                      ②近代後半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。                      ③近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ                      (発言・話し合い・態度など)                      ※定期考査                      ※プリント                      ※ノート</p>
	<p><b>第1節 第一次世界大戦と民族独立の動き</b>  <b>◇節の問い◇</b>                      第一次世界大戦は世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。</p>	<p>&lt;「第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現」を扱うこの単元のねらい&gt;                      ○ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことに気付かせるとともに、日本の参戦、ロシア革命なども取りあげて、世界の動きと日本との関連をふまえて</p>	<p><b>&lt;「第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現」を扱うこの単元の評価規準&gt;</b>                      ①第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きをもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に</p>	<p>※授業へのとりくみ                      (発言・話し合い・態度など)                      ※定期考査                      ※プリント                      ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p>て、大戦がその後の国際情勢および日本に大きな影響を及ぼしたことに気付かせる。</p> <p>○国際連盟の成立，中国や朝鮮，インドにおける民族運動の高まり，軍縮条約の締結を取り上げ，日本がどのように対応したかを理解させる。</p>	<p>調べまとめている。</p> <p>②世界の動きと日本の関係に着目して，第一次世界大戦による世界の変化や影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③第一次世界大戦前後の国際情勢について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		
<p>3年1学期</p>	<p><b>1 第一次世界大戦の始まりと総力戦</b></p> <p>◎第一次世界大戦は，どのような特徴を持った戦争だったのだろうか。</p>	<p>第一次世界大戦は，どのようにして起こり，どのような特徴をもつ戦争だったのか，ヨーロッパの国際関係を図でまとめたり，写真資料などから読み取ったりする。</p>	<p>①戦争に参加した国々が多く植民地をもっていたことをふまえて，第一次世界大戦が世界規模の総力戦となった理由について理解している。</p> <p>①それまでの戦争にはみられなかった第一次世界大戦の特徴を，写真資料などから適切に読み取り，理解している。</p> <p>①第一次世界大戦の背景となる，バルカン半島をめぐる国々の対立がどのようなものだったか，図にまとめるなどして理解している。</p> <p>②総力戦によって，列強各国の政府が女性や植民地の人々にどのようなことを行ったか（女性の権利を拡大する政策）をふまえて，その影響（女性の地位の向上，戦後の自治が約束されたこと）を考察し，適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ （発言・話し合い・態度など） ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>2 第一次世界大戦の拡大と日本</b></p> <p>◎日本は，第一次世界大戦やロシア革命にどのように関わったのだろうか。</p>	<p>日本は，第一次世界大戦やロシア革命にどのようにかかわったのか，資料などから読み取る。</p>	<p>①第一次世界大戦中に日本が中国に示した二十一か条の要求の中で，日本が実現させた要求の内容をふまえて，中国での反日運動が本格的に始まったり，欧米列強が日本への不信感を高めたりしたことを理解している。</p> <p>②日本が第一次世界大戦に参戦した理由，シベリアに出兵した理由について，イギリスとの関係やロシア革命の影響などをもとに考察し，適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ （発言・話し合い・態度など） ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>3年1学期</p>	<p><b>3 第一次世界大戦後の欧米諸国</b></p> <p>◎第一次世界大戦は、欧米諸国にどのような変化をもたらしたのだろうか。</p>	<p>第一次世界大戦を経て、国際関係はどのように変化したのか、欧米諸国で起こったことや民主主義の高まりなどに着目して、具体的な動きを読み取る。</p>	<p>①ベルサイユ条約は戦勝国と敗戦国にとってどのような内容だったか、それぞれの植民地の動きにもふれながら、表などを用いて適切にまとめ、理解している。</p> <p>②第一次世界大戦後、欧米諸国の政治にはどのような変化があったか、具体的な例をふまえて考察し、適切に表現している。</p> <p>③国際連盟が強い力をもてなかった理由について、アメリカの不参加などをふまえて考察し、適切に表現している。</p>	
<p>3年1学期</p>	<p><b>4 アジアの民族自決と国際協調</b></p> <p>◎第一次世界大戦後、アジアではどのような運動が起こり、日本や欧米諸国はどのように対応したのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p> <p>第一次世界大戦を経験した結果、戦争に関わった国々の社会にはどのような変化があったか、説明してみよう。</p>	<p>第一次世界大戦後、アジアではどのような運動が起こり、日本や欧米諸国はどのように対応したのか、朝鮮・中国・インドに着目して、具体的な動きを読み取る。</p> <p>◇戦勝国と敗戦国で起こった変化、それぞれの植民地における異なる変化に着目して考えさせる。</p>	<p>①朝鮮・中国・インドで起こった運動の内容を表に整理し、それぞれの要求などを適切にまとめ、理解している。</p> <p>②パリ講和会議（ベルサイユ条約）やワシントン会議で中国に関して決められたことについて、資料や文章から読み取って理解している。</p> <p>③1919年に朝鮮・中国・インドで民族運動が起こった背景について、日本やイギリスの動きをふまえて考察し、適切に表現している。</p> <p>④ワシントン会議の結果に日本の軍部が批判的だった理由について、国際協調の具体的な内容をもとに考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>第2節 高まる民主シーの意識</b></p> <p>◇節の問い◇ なぜ、第一次世界大戦後、民主主義的な考え方が広まったのだろうか。</p>	<p>&lt;「第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現」を扱うこの単元のねらい&gt;</p> <p>○国民の政治的自覚が高まり、本格的な政党内閣による政党政治が展開したこと、普通選挙制が実現したこと、米騒動をはじめ、労働運動、農民運動、社会主義運動などの社会運動が幅広く行われるようになったこと、女性の社会的進出が進んだことなどに気付かせる。</p> <p>○大都市の発達や都市に住む人々の生活様式や意識の変化、新聞・雑誌などの普及やラジオ放送の開始などを取り上げ、文化の大衆化が進んだことを理解させる。</p>	<p><b>&lt;「第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現」を扱うこの単元の評価規準&gt;</b></p> <p>①国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②世界の動きとわが国の関係に着目して、第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>タイムトラベル⑩</b></p> <p><b>大正～昭和初期を眺めてみよう</b></p> <p>1920～30年代ごろのある場面</p> <p>3年1学期</p>	<p>大正時代から昭和初期のころに産業が発達してきたある地方都市の駅前のようなすをえがいた想像図を見て、明治時代と比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。</p>	<p>①大正時代から昭和初期と明治時代の駅周辺のようすの違いについて、建築物や交通機関、人々の役割や政治参加のようすなどから適切なことがらを読み取っている。</p> <p>②男子普通選挙の実現、工業の発達と労働運動の始まり、交通機関の整備、生活習慣の欧米化など、大衆とよばれる人々が現れるようになったことなどについて、明治時代との共通点や相違点を考察し、写真資料などをもとに適切に表現している。</p> <p>【章の学習を振り返ろう】(103時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で</p> <p>①女性と社会のかかわりの変化を示している場面を適切に読み取っている。</p> <p>②想像図にえがかれているさまざまなことがらとともに、近代後半の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>3年1学期</p>	<p><b>1 護憲運動と政党内閣の成立</b></p> <p>◎第一次世界大戦の影響によって、日本の政治や経済はどのように変化したのだろうか。</p>	<p>第一次世界大戦によって、日本の政治や経済はどのように変化したのか、資料などから読み取ったり考えたりする。</p>	<p>①原内閣の成立にはどのような意味や意義があったのか、それまでの内閣との成立と異なる点に着目し、初めての本格的な政党内閣であったことなどを適切に読み取り、理解している。</p> <p>①第一次世界大戦が始まってから日本経済が急成長した理由（大戦景気）とその影響（物価の急上昇）を理解している。</p> <p>②護憲運動とはどのような運動か、自由民権運動との違いに着目しながら考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>2 社会運動の高まりと普通選挙の実現</b></p> <p>◎大正時代に民主主義を求めると社会運動はどのような形で展開したのだろうか。</p>	<p>大正時代に、デモクラシーはどのような形で展開したのか、選挙権の拡大やさまざまな社会運動に着目し、資料などをもとにまとめる。</p>	<p>①大正デモクラシーという言葉が、当時の具体的な運動や政党政治の実現などをもとにして、どのような風潮を意味するのかを理解している。</p> <p>②護憲運動、女性、労働者、差別された人々のそれぞれの立場から、大正デモクラシーの時期に展開された社会運動について考察し、どのようなことをなぜ求めていたのか、適切に表現している。</p>	
<p>3年1学期</p>	<p><b>3 近代都市に現れた大衆文化</b></p> <p>◎大正から昭和初期にかけて、人々の生活や文化はどのように変化したのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ デモクラシーの風潮は、日本の政治や外交、文化にどのような影響を与えたか、説明してみよう。</p> <p><b>歴史を探ろう</b></p>	<p>大正時代から昭和初期にかけて、人々の生活や文化はどのように変化したのか、社会の変化や文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇軍縮、国際協調、政党政治、大衆文化などのキーワードをもとに考えさせる。</p>	<p>①大正から昭和初期の時期に広まり、現代につながる欧米の文化や習慣について、「衣・食・住・子ども・その他」に分けて、表を用いて適切にまとめ、理解している。</p> <p>②都市を中心に大衆文化が広まった理由について、新聞の発行部数が増え、多くの雑誌が出版されてきたことや、学校教育や大正デモクラシーの影響などをふまえて考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p>発展する産業都市 大阪・神戸</p>			
<p>3年1学期</p>	<p><b>多面的・多角的に考えてみよう</b> 「母性保護論争」を考察する</p>	<p>女性の社会進出に際して、出産や育児の負担をどのように解決するか、男女の役割や国からの保護、女性や社会のあり方についてのさまざまな主張に対する自分なりの意見を発表する。</p>	<p>①大正末期から女性の社会進出が進む一方で、出産や育児、家事での女性の負担が大きかったことを資料から読み取り、このような女性を国が経済的に保護すべきかどうかについての論争で、女性が自立・独立できる社会のあり方についてさまざまな主張があり、それぞれがどのような根拠にもとづいていたか、資料をもとに理解している。</p> <p>②育児や家事における男女の役割、女性の権利と義務、国の役割などの観点から、当時の状況の中で課題となっていたことを考察し、その解決の方法について当時の女性活動家の主張から選択したり、新たな主張を考えたりし、根拠を明確にして適切に説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第3節 戦争に向かう世論</b> ◇節の問い◇ 世界恐慌後、日本や世界の動きはどのように変化したのだろうか。</p>	<p>&lt;「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元のねらい&gt; ○世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化、日本における経済の混乱と社会不安の広がりを取りあげ、政党政治が行きづまりをみせ、軍部が台頭して大陸での勢力を拡張したこと、国際連盟を脱退した日本がドイツと日独防共協定を結んでアメリカやイギリスと対立を深めたこと、中国との戦争が長</p>	<p>&lt;「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元の評価規準&gt; ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、二度目の世界大戦が起こった背景を考察する</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>	

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

		期化した経緯を理解させる。	など、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
3年1学期	<b>1 世界恐慌と行き詰まる日本</b>  ◎アメリカから始まった世界恐慌は、日本へどのような影響を与えたのだろうか。	アメリカから始まった世界恐慌は世界や日本へどのような影響を与えたのか、資料などから読み取ったり考えたりする。	①不景気の影響から日本で起こった出来事を読み取り、都市と農村に分けて適切にまとめ、理解している。 ②アメリカの不景気が世界に広まった理由、不景気の影響が日本の農村で特に大きかった理由（アメリカへの生糸の輸出が激減し、養蚕業が衰退した）を考察し、それぞれ根拠を示しながら適切に表現している。	※授業へのとりくみ （発言・話し合い・態度など） ※定期考査 ※プリント ※ノート
3年1学期	<b>2 欧米諸国が選んだ道</b>  ◎世界恐慌に対して、欧米諸国はどのように対応したのだろうか。	世界恐慌に対して、欧米諸国はどのように対応したのか、資料などから読み取り、政策の違いや共通点をまとめる。	①アメリカ・イギリス・フランス・ソ連が行った経済政策を読み取り、ブロック経済など共通している内容やその目的などを、表などで適切にまとめ、理解している。 ②ドイツでファシズムが台頭した理由を考察し、国民からの支持が得られたことなどにふれながら、適切に表現している。	※授業へのとりくみ （発言・話し合い・態度など） ※定期考査 ※プリント ※ノート
3年1学期	<b>3 強まる軍部と衰える政党</b>  ◎満州事変以後、政党政治はどのように変化したのだろうか。	満州事変以後、政党政治はどのように変化したのか、軍部が台頭していく経緯に着目して読み取ってまとめる。	①五・一五事件と二・二六事件による影響を読み取り、政党政治が変化した様子を示した図も活用して、軍部が力を強めていった経緯を適切にまとめ、理解している。 ②人々が軍部を支持するようになった理由を考察し、「政党政治」「不景気」「満州」という言葉を用いて適切に表現している。	※授業へのとりくみ （発言・話し合い・態度など） ※定期考査 ※プリント ※ノート

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>3年1学期</p>	<p><b>4 日中戦争と総力戦に向かう国民生活</b></p> <p>◎日本は戦争を進めるためにどのような政策を行ったのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p> <p>世界恐慌に各国はどのように対処し、その中で日本はどのような動きをしたのか、説明してみよう。</p> <p><b>歴史を探ろう</b></p> <p>長野県から見る満州移民</p>	<p>日中戦争はどのようにして始まり、日本は戦争を進めるためにどのような政策を行ったのか、資料などから読み取ってまとめる。</p> <p>◇日本、ドイツ、イタリアの共通点やイギリス、フランス、アメリカの共通点に着目し、考えさせる。</p>	<p>①戦争を進めるために、政府が国民に対して行った生活に関する政策を読み取り、それぞれのねらいについても適切にまとめ、理解している。</p> <p>①日本と中国は、ドイツ・アメリカ・イギリス・ソ連とどのような関係であったかを、関係図を用いて適切にまとめ、理解している。</p> <p>①日中戦争の始まりによって日本と中国の国内で起こった動きを文章から読み取り、理解している。</p> <p>②中国との戦争が長期化した理由を考察し、中国国民党（国民政府）と中国共産党が抗日という目的で一つにまとまったことや、国民政府がアメリカやイギリスなどの支援を受けて徹底抗戦を続けたことなどにふれながら、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第4節 第二次世界大戦の惨禍</b></p> <p>◇節の問い◇ なぜ日本は、戦争を拡大していったのだろうか。また、その結果はどのようなものだったのだろうか。</p>	<p>&lt;「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元のねらい&gt;</p> <p>○日本がドイツ、イタリアと三国同盟を結び、アメリカ、イギリス、そして終戦直前に参戦したソビエト連邦などとの大戦になったこと、日本が多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと、各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下など、日本の国民も大きな戦禍を受けたことなどから、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気付かせる。</p> <p>○戦時体制下で国民の生活がどう変わったかについて、身近な地域の事例を取り上げ、平和な生活を築くことの大切さに気付かせる。</p>	<p>&lt;「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元の評価規準&gt;</p> <p>①第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民の生活などをもとに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②世界の動きと日本との関連に着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③第二次世界大戦と人類への惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>&lt;「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元の評価規準&gt;</p> <p>①第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民の生活などをもとに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②世界の動きと日本との関連に着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③第二次世界大戦と人類への惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>



令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>3年1学期</p>	<p><b>タイムトラベル⑩</b> <b>第二次世界大戦</b> <b>期を眺めてみよう</b> 1941年ごろのある場面</p>	<p>第二次世界大戦の時代の阪神地域のあ る都市のようすをえがいた想像図を見 て、大正～昭和初期と比べて、どのよ うな点に変化し、どのような共通点があ ったのかを読み取り、疑問があれば 追究すべき課題（生徒自身の「単元を 貫く問い」）を設定する。</p>	<p>①第二次世界大戦の時代と大正時代から昭 和初期の都市のようすの違いについて、 人々の服装や暮らし、学校教育、町の立て 看板に書かれた内容などから適切なことが らを読み取っている。</p> <p>②工業の発達、軍国主義的な教育やさまざ まな社会の統制、新聞が果たした役割な ど、大正～昭和初期との共通点や相違点を 考察し、写真資料などをもとに適切に表現 している。</p> <p>【章の学習を振り返ろう】(103時限)の 「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面 で</p> <p>①女性と社会のかかわりの変化を示してい る場面を適切に読み取っている。</p> <p>②想像図にえがかれているさまざまなこと がらとともに、近代後半の時代の特色を自 分の言葉で適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとり くみ (発言・話し合 い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>1 第二次世界大</b> <b>戦への道</b></p> <p>◎第二次世界大 戦が始まってか ら、日本は欧米諸 国とどのような関 係を築こうとした のだろうか。</p>	<p>第二次世界大戦はどのようにして始ま り、日本と欧米諸国の関係はどう変化 していったのか、また、日本とアメリ カの交渉はどのように展開したのか、 資料などから読み取ってまとめる。</p>	<p>①日本が日独伊三国同盟、日ソ中立条約を 結んだ目的を、適切に読み取り、理解して いる。</p> <p>①第二次世界大戦が始まって以降の、日本 とドイツ・アメリカ・ソ連との関係とその 変化を図などにまとめ、理解している。</p> <p>②日本とアメリカの対立が深まっていった 理由について、戦争を避けるための交渉を 続けていながらも、それが決裂する経緯 をふまえて考察し、「ファシズム」「民主 主義」「資源」という言葉を用いて適切に 表現している。</p>	
<p>3年1学期</p>	<p><b>2 太平洋戦争と</b> <b>植民地支配の変</b> <b>化</b></p> <p>◎日本の植民地 や占領下の地域 では、どのような 政策が行われた のだろうか。</p>	<p>日本の植民地や占領下の地域では、ど のような政策が行われ、どのような反 応があったのか、インドネシアで使わ れている教科書の資料などから読み取 ったり、考えたりする。</p>	<p>①日本軍が掲げた「大東亜共栄圏」の考え 方やアジアの人々のとらえ方を、資料な どから適切に読み取り、理解している。</p> <p>②占領下の国や地域で抗日運動が起こった 理由を、日本が植民地・占領下で行った政 策の内容やねらいをふまえて考察し、適切 に表現している。</p>	<p>※授業へのとり くみ (発言・話し合 い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>3年1学期</p>	<p><b>3 戦局の悪化と戦時下の暮らし</b></p> <p>◎戦局の悪化によって、日本の人々の生活はどのように変化したのだろうか。</p> <p><b>歴史を探ろう</b></p> <p>戦場となった沖縄</p>	<p>戦争はどのように展開し、それによって人々の生活はどのように変化したのか、写真や資料などから読み取る。</p>	<p>①戦局が悪化したことで行われた政策とその内容を読み取り、理解している。</p> <p>①戦局の悪化にともない、学生や小学校に通っていた子どもたちがどのような生活を強いられたか、文章から読み取って理解している。</p> <p>①戦場となった沖縄で、多くの住民が犠牲になったさまざまな理由について理解している。</p> <p>②多くの国民が戦争の勝利を信じていた理由を、当時の新聞などをもとに考察し、「政府」という言葉を用いて適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>4 ポツダム宣言と日本の敗戦</b></p> <p>◎第二次世界大戦は、どのように終結したのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p> <p>日本が戦争を拡大していった理由と、多くの犠牲者を出してしまった理由を説明してみよう。</p>	<p>太平洋戦争をふくめた第二次世界大戦では、どれだけの犠牲があり、どのような経緯をたどって終わったのか、具体的な事実を整理してまとめる。</p> <p>◇日中戦争とアメリカ・イギリスとの戦争のつながり、沖縄戦に関する資料に着目して考えさせる。</p>	<p>①ヤルタ会談、東京大空襲、沖縄戦、ドイツの降伏、広島・長崎への原爆投下、ソ連参戦、ポツダム宣言受諾など、1945年の世界と日本の動きについて、多くの犠牲者を生んだ出来事を中心に、8月は日付もふくめて表などにまとめ、理解している。</p> <p>②第二次世界大戦では、沖縄戦や原爆投下に関する資料などをふまえ、なぜ多くの犠牲者が出てしまったのかを考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>章の学習を振り返ろう</b></p> <p>二度の世界大戦と日本</p> <p>■章の問い■</p> <p>「近代化」が進展した日本で、世論が求めたものは何か。</p>	<p>日本の主な出来事に対して、日本の世論はどのようなものだったかを考え、世論が大きく転換した時期を選び、その理由を説明する。</p> <p>近代後半とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。</p>	<p>①章の学習を振り返り、日本の主な出来事に対する世論を調べ、歴史的な見方・考え方を働かせて世論が大きく転換した時期を選び、効果的にまとめている。</p> <p>②世論の変化に着目するなどして近代後半の日本と世界を大観し、時代の特色を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>③世論が果たす役割について、現代のあり方と比較するなどして、よりよい社会の実</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

			<p>現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
<p><b>第6章 現代 現在に続く日本と世界</b>  <b>■章の問い■ 現代の日本社会を形づくる画期となった出来事は何か。</b></p>		<p><b>&lt;第6章のねらい&gt;</b>                  ①冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。                  ①高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。                  ②諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。                  ②現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。                  ②これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。                  ③現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決させる。</p>	<p><b>&lt;第6章の評価規準&gt;</b>                  ①冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。                  ①高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。                  ②諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。                  ②現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。                  ②これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現している。                  ③現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>	

<p><b>第1節 敗戦から立ち直る日本</b></p> <p>◇節の問い◇ 第二次世界大戦後、日本の改革はどのような目標の下に進められたのだろうか。</p>	<p>＜「日本の民主化と冷戦下の国際社会」を扱うこの単元のねらい＞</p> <p>○戦後の混乱のなかで、国民の貧しさからの解放の願いや平和と民主主義への期待などを背景に、男女普通選挙の確立や日本国憲法の制定をはじめとして大きな改革が次々に進められ、国民が苦難をのりこえて新しい日本の建設に努力し、現代の日本の骨組みが形成されたことに気付かせる。</p> <p>○日本国憲法の基本的原則からその歴史的意義を読み取らせる。</p> <p>○戦後の混乱や生活のようす、国民の努力について、身近な地域などの具体的な事例をもとにとらえさせる。</p> <p>○冷戦について、国際連合の発足、米ソ両陣営の対立、アジア諸国の独立、朝鮮戦争、その後の平和共存の動きなどを、日本の動きと関連させながら理解させる。</p>	<p>＜「日本の民主化と冷戦下の国際社会」を扱うこの単元の評価規準＞</p> <p>①日本の民主化と再建の過程、冷戦などをもとに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②諸改革の展開と国際社会の変化に着目して、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかかわりについて考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本の民主化と冷戦下の国際社会について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>タイムトラベル⑫</b></p> <p><b>高度経済成長期を眺めてみよう</b></p> <p>1960～70年代ごろのある場面</p> <p>3年1学期</p>	<p>新幹線が開通した1960年代のあるまちなようすをえがいた想像図を見て、第二次世界大戦期と比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があったのかを読み取る。</p>	<p>①高度経済成長期と第二次世界大戦期の都市の共通点や違いについて、建築物や交通機関、子どもたちのようすや人々の役割などから、適切なことがらを読み取っている。</p> <p>②工業の発達、家電製品や自動車の普及、新幹線の開通、女性の役割、子どもたちの遊びなど、第二次世界大戦期との共通点や相違点を考察し、写真資料などをもとに適切に表現している。</p> <p>【章の学習を振り返ろう】(116時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で</p> <p>②想像図にえがかれているさまざまなことがらとともに、現代の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>3年1学期</p>	<p><b>1 敗戦からの出発</b></p> <p>◎敗戦後、日本人々と社会はどのような状況であったのだろうか。</p>	<p>敗戦後、どのような改革が行われ、またどのような影響が残ったのか、写真資料などから読み取ってまとめる。</p>	<p>①GHQが日本政府に対し、軍国主義の徹底的な排除と民主化を進めるための政策を指示したことを読み取り、理解している。</p> <p>①敗戦が海外にいた人々に与えた影響という点から資料などを読み取り、海外の軍人や民間人の中には、戦争が終わった直後に日本にもどることができなかった人々がいたことなどを理解している。</p> <p>①GHQの改革指令を受けて、日本政府がどのようなことを行ったのか、次時の内容もふまえて理解している。</p> <p>②「すべての戦後が同時に始まったわけではなかった」という言葉の意味や経緯を考察し、具体的な人々の生活の困難にふれながら、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>2 新時代に求められた憲法</b></p> <p>◎新しい日本をつくるために、どのような改革が行われたのだろうか。</p>	<p>占領下の日本では、どのような改革が行われたのか、資料などから読み取ったり、それらの意義を考えたりする。</p>	<p>①この時期に進展した日本の民主化政策（財閥解体、農地改革など）の内容とそのねらいについて、資料から読み取れることをふまえて理解している。</p> <p>②戦後の日本が目標としていた国づくりについて、日本国憲法にもりこまれた人々の期待をふまえて考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>3 冷たい戦争とその影響</b></p> <p>◎冷戦は、日本や世界各地にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p> <p>敗戦後、日本の改革はどのような目標の下に進められ、国際社会のなかでどのような</p>	<p>冷戦は、日本をふくめ、世界各地にどのような影響を与えたのか、朝鮮戦争をおもに取りあげて考えさせる。</p> <p>◇GHQの方針と朝鮮戦争後にそれが転換したことに着目して考えさせる。</p>	<p>①冷戦の影響によってドイツや朝鮮が分断され、西ドイツと東ドイツ、韓国と北朝鮮に分かれたことを理解している。</p> <p>②日本が冷戦体制に組みこまれた背景を考察し、平和主義の原則の下、非軍事化が進められていた日本で、自衛隊がつけられた経緯にふれながら、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p>立場になったのか、説明しよう。</p>			
<p><b>第2節 世界の多極化と日本の成長</b> ◇節の問い◇ 復興を遂げた日本は、国際社会でどのような役割を担うようになったのだろうか。</p>	<p>&lt;「日本の経済の発展とグローバル化する世界」を扱うこの単元のねらい&gt; ○日本が独立を回復して国際連合に加盟し、国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。 ○日本の産業・経済や科学技術の著しい発展とそれとともなう生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気付かせる。 ○沖縄返還、日中国交正常化などを取りあげ、東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。</p>	<p>&lt;「日本の経済の発展とグローバル化する世界」を扱うこの単元の評価規準&gt; ①高度経済成長、国際社会とのかかわりなどをもとに、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の経済の発展について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		
<p>3年1学期</p>	<p><b>1 日本の独立と世界の動き</b>  ◎独立を回復した日本は、どのような課題を残しながら国際社会に復帰したのだろうか。  歴史を探ろう</p>	<p>独立を回復した日本は、どのような課題をかかえるようになったのか、条約の内容などを読み取ったり考えたりする。</p>	<p>①サンフランシスコ平和条約で決まった内容を適切に読み取り、理解している。 ②独立を回復し国際社会に復帰する過程で、日本に残された課題を考察し、適切に表現している。 ②日米安全保障条約の改定をめぐる安保闘争について考察し、賛成と反対、それぞれの意見を、根拠を明確にして適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	日本の領土画定と 近隣諸国			
3年1学期	<p><b>2 冷戦下での日本とアジア</b></p> <p>◎アメリカとソ連の対立は、日本を含めた東アジアの国際関係にどのような変化を与えたのだろうか。</p>	ベトナム戦争により、日本をふくめた東アジアの関係はどのように変化したのか、沖縄の復帰や韓国・中国との関係に着目し、資料などから読み取ってまとめる。	<p>①復帰前と復帰後で沖縄はどのように変化したか、また、変化していないことは何かを具体的なことがらをもとに理解している。</p> <p>②日本と韓国・中国との国交正常化が進められた背景と、残された問題点について考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
3年1学期	<p><b>3 経済成長による日本の変化</b></p> <p>◎経済の急速な発展は、私たちの生活にどのような影響を与えたのだろうか。</p>	日本はどのような問題をのりこえて、経済成長を進めてきたのか、写真やグラフなどの資料から読み取ったり考えたりする。	<p>①経済成長期に現われてきた社会問題として、公害問題や貿易摩擦の問題などがあることを理解している。</p> <p>②高度経済成長によって、日本の経済や産業にどのような変化があったかを考察し、適切に表現している。</p> <p>③石油危機を経験して、行われるようになった対策(省エネルギー技術の開発、原子力発電)をいくつかあげ、それらの意義について考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
3年1学期	<p><b>4 日本の社会と国際関係の変化</b></p> <p>◎日本が経済大国になったことは、日本の社会や国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。</p>	日本が経済大国になったことで、どのような影響が日本の社会や国際社会に及んだのか、写真やグラフなどの資料から読み取ったり考えたりする。	<p>①1980年代に日本国内で行われた具体的な改革の例を、文章から読み取らせる。</p> <p>②日本が経済大国となったことで、国際社会に与えた影響にはどのようなものがあったかを考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
3年1学期	<p><b>5 大衆化・多様化する戦後の文化</b></p> <p>◎戦後復興期から高度経済成長期にかけて、人々の生活や文化は</p>	戦後復興期から高度経済成長期にかけて、人々の生活や文化はどのように変化したのか、社会の変化や文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。	<p>①高度経済成長期の「三種の神器」の名称(電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ)とその影響(家事の時間短縮と余暇の時間の増加)について、文章やグラフなどから読み取り、理解している。</p> <p>②戦後復興期や高度経済成長期を代表する文化人のうち、教科書で紹介されている人物を調べてレポートにまとめ、理解してい</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
		◇政治については国際連合への加盟や		

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p>どのように変化したのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p> <p>独立を回復した日本は、国際社会のなかでの立場を政治的・経済的にどのように変化していったか、説明しよう。</p>	<p>各国との関係などについて、経済については政府開発援助（ODA）の推移を示すグラフのデータなどに着目して、考えさせる。</p>	<p>る。</p> <p>②戦後復興期と高度経済成長期で、マスメディアはどのように変化したか、映画とテレビの登場などに着目して考察し、適切に表現している。</p>	
<p><b>第3節 これからの日本と世界</b></p> <p>◇節の問い◇ 冷戦終結後、日本と世界はどのように変化したのだろうか。</p>	<p>＜「日本の経済の発展とグローバル化する世界」を扱うこの単元のねらい＞</p> <p>○世界規模での米ソ両陣営の対立が終わったことやその影響に気付かせ、冷戦終結後の国際協調の平和外交の推進や開発途上国への援助などもふかえ、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解させるとともに、公民的分野の学習に向けた課題意識をもたせる。</p> <p>○冷戦終結後も国際社会には、民族や宗教をめぐる対立、国家を超えた地域統合、地球環境問題とその取り組み、資源やエネルギーをめぐる課題、日本と近隣諸国との間の領土をめぐる問題、日本人拉致問題など、主権や人権、平和などさまざまな課題が存在していること、それらを解決するためのさまざまな人々の努力が重ねられていることに気付かせる。</p>	<p>＜「日本の経済の発展とグローバル化する世界」を扱うこの単元の評価規準＞</p> <p>①冷戦の終結をもとに、国際協調の平和外交の推進、開発途上国への援助などもふかえ、国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③グローバル化する世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		
<p>3年1学期</p>	<p><b>1 グローバル化が進む世界</b></p> <p>◎冷戦の終結後、世界ではどのようなことが進展したのだろうか。</p>	<p>どのようにして冷戦が終わり、その後世界ではどのようなことが起こったか、写真資料などから読み取る。</p>	<p>①冷戦後に起こった主な紛争・戦争について、写真資料などをもとに適切に読み取り、理解している。</p> <p>②グローバル化に伴って起こった出来事について、地域統合の動きや地域紛争の激化などをもとに、経済面と国際政治面から考察して、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ （発言・話し合い・態度など） ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>



令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>3年1学期</p>	<p><b>2 激変する日本とアジア</b></p> <p>◎冷戦終結後、日本国内の政治・経済やアジア諸国との関係はどのように変化したのだろうか。</p>	<p>1990年代初めや平成の時代の日本では、政治と経済、東アジアとの関係の面でどのような変化が起こったか、写真やグラフの資料から読み取る。</p>	<p>①冷戦後に起こった日本での政治面と経済面の大きな出来事（「55年体制」の終わりとバブル経済の崩壊）を文章から読み取り、それぞれの経緯を適切にまとめ、理解している。</p> <p>②財政の赤字が増加する理由について、高齢化が進んでいることに着目して考察し、社会保障費が増大していることなどを適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>3 国際社会におけるこれからの日本</b></p> <p>◎よりよい未来に向けて、私たちは歴史から学んだことを、どのように生かしていくことができるだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 冷戦終結後には、どのような課題や社会の変化が起こったのか、一つの出来事を選びその原因から説明してみよう。</p>	<p>日本や世界が直面している課題について、歴史から学んだことを生かして、よりよい未来をつくるための取り組みを考え、発表する。</p> <p>◇政治、経済、国際関係などの面から、解決すべき大きな課題であると考えられる出来事を選ばせ、「持続可能な社会」の実現を視野に入れて考えさせる。</p>	<p>①全世界に共通している課題と、日本の他、特定の国や地域が直面している課題について、今まで日本が国際社会のなかで取り組んできたことにもふれながら、表などで適切にまとめ、理解している。</p> <p>②直面している課題のうちの一つ（人口問題、環境問題、エネルギーの安定供給の問題など）を選び、それに取り組むためにはどのようにしたらよいか、歴史で学んだことを生かして考察し、適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年1学期</p>	<p><b>章の学習を振り返ろう</b></p> <p>現在に続く日本と世界</p> <p>■章の問い■ 現代の日本社会を形づくる画期と</p>	<p>日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事を取り上げて重要度が高い順に並べ、グループで発表し合い、それぞれの考えを深めさせる。</p> <p>現代とはどのような時代か、自分の言葉で説明したり、意見交換を行ったりする。</p>	<p>①章の学習を振り返り、日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事を選んで、歴史的な見方・考え方を働かせて重要度が高い順に並べるなど、効果的にまとめている。</p> <p>②日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事に着目するなどして、現代の日本と世界を大観し、時代の特色を多面的・多角的に考察し、適切に表現してい</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	なった出来事は何か。		る。 ③現代の日本社会の形成過程をもとに、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
3年1学期	多面的・多角的に構想する 未来に向けて	社会的な関心からテーマを決め、現代にいたるまでの歴史的な経緯を整理し、さまざまな角度から課題解決への鍵を探って、未来へのメッセージをまとめる。	②これまでの歴史学習をふまえ、歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界のあり方について、適切な課題を設定し、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート

学期	項目 (学習課題)	学習内容・学習活動	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度	評価資料
<b>第1部 現代社会</b>				
	<b>第1章 現代社会と文化</b>  <b>■章の問い■ 現代日本の社会と文化にはどのような特色があるのだろうか。</b>	<b>&lt;第1部第1章のねらい&gt;</b> 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。  ①現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解する。また、現代社会における文化の意義や影響について理解させる。  ②少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。	<b>&lt;第1部第1章の評価規準&gt;</b> ①現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ①現代社会における文化の意義や影響について理解している。  ②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。  ③私たちが生きる現代社会と文化の特色に	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p>③私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>ついて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>		
<p><b>第1節</b> <b>現代社会の特色</b></p> <p>◇節の問い◇ <b>情報化、グローバル化、少子高齢化は私たちの生活にどのような影響を及ぼしているのだろうか。</b></p>	<p>&lt;第1節のねらい&gt;</p> <p>情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>&lt;第1節の評価規準&gt;</p> <p>①現代日本の社会では情報化、グローバル化、少子高齢化など変化がみられることを理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③情報化、グローバル化、少子高齢化に関する事象を身近なところから見つけ、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>	
<p>3年1学期</p>	<p><b>*学習の前に</b> 40年前と今の社会を比較してみよう</p> <p><b>1 情報化が進む現代</b> ◎情報化のさらなる進展は、わたしたちの生活にどのような影響をもたらすのだろうか。</p>	<p>情報化のさらなる進展は、私たちの生活にどのような影響をもたらすかを考える。</p>	<p>①情報化によるさまざまな変化を表す資料を収集し、適切に活用して、現代社会の特色として情報化がみられることを理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②大量の情報の活用によって、社会がどのような変化したかを考え、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>2 グローバル化が進む現代</b></p> <p>◎グローバル化は私たちの生活にどのような影響をもたらすのだろうか。</p>	<p>グローバル化は私たちの生活にどのような影響をもたらすかを考える。</p>	<p>①身のまわりにあるグローバル化の事例を見つけ出すことを通して、現代日本の特色としてグローバル化がみられることを理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②グローバル化が将来の日本の社会にもたらす影響を考えるとともに、持続可能な社会をつくるという観点から世界各国の相互協力について考え、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>3 少子高齢化が進む現代</b></p> <p>◎少子高齢化は、私たちの生活にどのような影響をもたらすのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 情報化、グローバル化、少子高齢化が私たちの生活に及ぼす影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して説明してみよう。</p>	<p>少子高齢化が進むと、私たちの生活にどのような影響をもたらすかを考える。</p> <p>◇情報化、グローバル化、少子高齢化が私たちの生活にどのような影響をもたらすかを考える。</p>	<p>①人口構造や今後の人口予測などの資料を収集し、適切に読み取ることを通して、現代日本の特色として少子高齢化と人口減少がみられることを理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②少子高齢化が将来のわが国の社会にどのような影響をもたらすかを予測し、持続可能な社会という観点からその対策を考えて提案している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第2節 私たちの生活と文化</b></p> <p>◇節の問い◇ <b>なぜ日本の文化を知り、伝統文化を受け継ぐ必要があるのだろうか。</b></p>	<p>&lt;第2節のねらい&gt;</p> <p>現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、文化の継承と創造の意義について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>&lt;第2節の評価規準&gt;</p> <p>①わが国の伝統や文化に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ることを通して、その意義や影響を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②現代社会における文化の意義や影響、文化の継承と創造の意義について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③わが国の伝統や文化について、自分の体</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

			<p>験や身近な事例と結びつけて生活とのかかわりを考え、文化の継承と創造に積極的にかかわろうとしている。</p>	
<p>3年1学期</p>	<p><b>1 生活に息づく文化</b> ◎文化は私たちの生活とどのように関わっているのだろうか。</p>	<p>文化は私たちの生活とどのように結びついているかを考える。</p>	<p>①世界の多様な文化に関する情報を収集し、適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ②科学、芸術、宗教が人々の生活に与えている影響について考え、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>2 日本の伝統と文化</b> ◎日本の文化はどのような特色があるのだろうか。また、私たちはどのように文化と関わっているか。  ◇節の問いを振り返ろう◇ 文化を受け継ぎ、新たに創造していく意義を説明してみよう。</p>	<p>日本の文化がどのように形づくられ、どのような特色があるのかを理解する。  ◇文化を受け継ぎ、新たな文化を創造することにどのような意義があるのか考える。</p>	<p>①歴史的分野での学習成果を生かして、日本人の心情やものの考え方の背景として外来文化や自然とのかかわりが深いことを理解し、その知識を身につけている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>* 章の学習を振り返ろう</b></p> <p><b>第1部第1章</b></p> <p><b>現代社会と文化</b></p> <p><b>■章の問い■</b></p> <p><b>現代日本の社会と文化にはどのような特色があるのだろうか。</b></p>	<p>章の学習で得た知識を確認し、章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。</p>	<p><b>&lt;第1部第1章の評価規準&gt;</b></p> <p>①現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。</p> <p>①現代社会における文化の意義や影響について理解している。</p> <p>②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第2章</b></p> <p><b>現代社会をとらえる枠組み</b></p> <p><b>■章の問い■</b></p> <p><b>社会生活において、きまりにはどのような意義があるのだろうか。</b></p>	<p><b>&lt;第1部第2章のねらい&gt;</b></p> <p>対立と合意、効率と公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。また、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。</p> <p>②社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③現代社会を捉える枠組みについて、</p>	<p><b>&lt;第1部第2章の評価規準&gt;</b></p> <p>①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。</p> <p>①人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

		現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。		
3年1学期	<b>1 社会的存在として生きる私たち</b> ◎私たちが生きていくうえで、意見が対立した場合、どのように解決すればよいのだろうか。	私たちが生きていく上で、意見が対立した場合、どのように解決すればよいのかを考える。	①p17「防災備蓄倉庫の新設をを考えてみよう」を活用して、社会集団で意見が対立した場合に、合意を作り出すことによって問題が解決することを理解し、その知識を身に付けている。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート
	<b>2 効率と公正</b> ◎意見が対立した場合、よりよい合意を作るための見方・考え方である「効率」「公正」とは、どのようなものなのだろうか。	意見が対立したとき、よりよい合意をつくるための考え方である「効率」「公正」とは、どのような考え方なのかを理解する。	①合意の妥当性を判断する際に、無駄を省く「効率」と、決定の手続きや内容についての「公正」が必要であることを理解し、その知識を身につけている。 ②p19「防災備蓄倉庫の新設をを考えてみよう」の事例について、合意を作り出すための方法を、効率、公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート
	<b>3 私たちときまり</b> ◎社会的存在である私たちは、社会集団の中できまりとどのように関わっていけ	きまりが社会集団においてどのような役割をはたしているかを考える。	②物事の決定の仕方や決定したことを「きまり」として守ることの意義を多面的・多角的に考察、構想し、自分の言葉で説明している。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>ばよいのだろう か。</p>			
<p><b>* アクティブ公民 マンションの騒 音問題を解決し よう</b></p>	<p>マンションの騒音問題を解決するための方法を考える。</p>	<p>①「マンションの騒音問題を解決しよう」について、さまざまな立場からの意見を整理して、A案とB案の長所や短所を整理してまとめている。</p> <p>②「マンションの騒音問題を解決しよう」について、みんなが納得できる合意をつくるための方法を考え、自分の言葉で説明している。</p>	
<p><b>* 章の学習を振り返ろう</b> <b>第1部2章 現代社会をとら える枠組み</b></p> <p><b>■章の問い■ 社会生活において、きまりにはどのような意義があるのだろうか。</b></p>	<p>章の学習で得た知識を確認し、章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。</p>	<p><b>&lt;第1部第2章の評価規準&gt;</b></p> <p>①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。</p> <p>①人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第2部 政治</b></p>			



令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>第1章</b> <b>日本国憲法</b></p> <p><b>■章の問い■ 政治が日本国憲法に基づいて行われていることにはどのような意義があるのだろうか。</b></p>	<p><b>&lt;第2部第1章のねらい&gt;</b></p> <p>対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。また、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であること、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。</p> <p>②我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p><b>&lt;第2部第1章の評価規準&gt;</b></p> <p>①人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</p> <p>①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。</p> <p>①日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</p> <p>①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第1節</b> <b>民主主義と日本国憲法</b></p> <p><b>◇節の問い◇ 民主社会ではなぜ法に基づく政治が大切なのだろうか。</b></p>	<p><b>&lt;第1節のねらい&gt;</b></p> <p>小学校社会科の学習との円滑な接続を図り、法に基づく政治の大切さについて、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p><b>&lt;第1節の評価規準&gt;</b></p> <p>①法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法の原則、天皇の地位と国事行為について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>②民主的な社会生活にかかわる様々な事象から学習課題を見だし、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③民主的な社会生活にかかわる様々な事象をもとに、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

3年2学期	<p><b>*学習の前に</b> 私たちの暮らしと憲法の間接関係を見よう</p> <p><b>1 民主主義と立憲主義</b> ◎立憲主義とはどのようなしくみで、それを実現していくためにはどのような取り組みが必要なのだろうか。</p>	<p>民主主義とはどのようなしくみで、それを実現するためにどのような取り組みが必要なのかを考える。</p>	<p>②民主主義とはどのようなしくみかを考え、民主主義の実現における立憲主義の意義について自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>2 人権保障と法の支配</b> ◎民主主義と人権の保障は、どのような歴史過程をたどって実現してきたのだろうか。</p>	<p>民主主義と人権の保障は、どのような歴史過程をたどって実現してきたのかを理解する。</p>	<p>①歴史的分野での学習をもとに、人権獲得の歴史に関する資料を収集し、適切に選択して分類したり、図表などにまとめたりしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>*アクティブ公民 みんなで決めるとはどういうこと?</b></p>	<p>民主主義における決定の方法について考える。</p>	<p>②民主主義における公正な決定の方法について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>3 日本国憲法の成立</b> ◎日本国憲法はどのように成立したのだろうか。</p>	<p>大日本帝国憲法がどのような経緯で日本国憲法へと改正されたのかを理解する。</p>	<p>①日本国憲法と大日本帝国憲法を比較した資料などから、日本国憲法の特徴を読み取りまとめている。 ②歴史的分野の学習を生かして、日本国憲法へと改正された歴史的背景について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>4 国民主権</b> ◎国民が主権を持つとは、どのようなことなのだろうか。</p>	<p>国民が主権を持つとはどのようなことなのかを理解する。</p>	<p>①国民主権の原則の下での国民としての政治参加のあり方や象徴としての天皇の地位について理解し、その知識を身につけている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p><b>5 日本の平和主義</b></p> <p>◎日本国憲法では、平和主義をどのように定めているのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 法に基づく政治が大切である理由を「国家」という言葉を用いて説明してみよう。</p>	<p>日本国憲法では、平和主義をどのように定めているかを理解する。</p> <p>◇民主的な社会生活を営むたうえで、なぜ法に基づく政治が大切なのかを考えさせる。</p>	<p>①日本国憲法の前文や第9条から、平和主義をどのように定めているかを読み取りまとめている。</p> <p>②日本の平和主義や自衛隊のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第2節 基本的人権の尊重</b></p> <p>◇節の問い◇ 日本国憲法では、なぜ基本的人権が保障されているのだろうか。</p>	<p>&lt;第2節のねらい&gt;</p> <p>基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解させるとともに、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>&lt;第2節の評価規準&gt;</p> <p>①基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>②基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と法との関連について、個人の尊重の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③人間の尊重についての考え方を踏まえて、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>		<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年2学期</p>	<p><b>1 個人の尊重と憲法上の権利</b></p> <p>◎日本国憲法では、基本的人権の尊重をどのように保障しているのだろうか。</p>	<p>日本国憲法では、基本的人権をどのように保障しているかを理解する。</p>	<p>①日本国憲法では基本的人権をどのように保障しているかについて理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②個人の尊重の実現には基本的人権が保障されることが必要である理由について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>2 自由権</b></p> <p>◎日本国憲法では、自由権をどのように保障しているのだろうか。</p>	<p>日本国憲法では、自由権をどのように保障しているかを理解する。</p>	<p>①精神の自由、生命・身体の自由、経済活動の自由について理解し、日本国憲法から自由権について定めている条文を見つけだし、分類・整理している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>3 平等権と差別されない権利</b></p> <p>◎日本国憲法では、平等権をどのように保障しているのだろうか。</p>	<p>日本国憲法では、平等権をどのように保障しているかを理解する。</p>	<p>①日本国憲法から平等権について定めている条文を見つけだしまとめている。</p> <p>②p46「夫婦別姓の議論」について、夫婦別姓に対する自分の立場を決め、意見交換を通して考えを深めようとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>4 日本社会の差別の現実</b></p> <p>◎現代社会に残る偏見や差別をなくすために、どのような取り組みが求められているのだろうか。</p>	<p>現代社会に残る偏見や差別をなくすために、どのような取り組みが求められているかを考える。</p>	<p>②障害のある人への差別をなくすためのバリアフリー化について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>5 社会権</b></p> <p>◎日本国憲法では、社会権をどのように保障しているのだろうか。</p>	<p>日本国憲法では、社会権をどのように保障しているかを理解する。</p>	<p>①日本国憲法で保障されている社会権の内容について理解し、日本国憲法から社会権について定めている条文を見つけだしまとめている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>6 政治に参加する権利と人権を守るための権利</b></p> <p>◎人権を守るために、日本国憲法ではどのような権利を保障しているのだろうか。</p>	<p>人権を守るために、日本国憲法ではどのような権利が保障されているのかを理解する。</p>	<p>①人権を守るために保障されている権利と、国民の三大義務および公共の福祉による制限について理解し、日本国憲法から人権を守るための権利について定めている条文を見つけだしまとめている。</p> <p>②大切な人権を守るために、社会の一員としての自らのあり方を考え、自分の意見を表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>7 これからの人権を考える</b></p> <p>◎社会の変化に伴って、どのような人権の保障が求められているのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振</p>	<p>社会の変化に伴って、どのような人権が新たに求められているのかを理解する。</p> <p>◇個人の尊重を実現するために、なぜ基本的人権が保証されなければならないのかを考えさせる。</p>	<p>①日本国憲法第13条の幸福追求権をもとに、法律で新たに認められるようになった人権について内容を理解し、その知識を身につけている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p>り返ろう◇ 基本的人権の保障が大切な理由を「個人の尊重」という言葉を用いて説明してみよう。</p>			
	<p><b>*アクティブ公民</b> <b>青果店を営む男性はどうか？</b></p>	<p>権利を巡る対立からよりよい合意に至る方法を考える。</p>	<p>①青果店の立ちのきについて、さまざまな立場からの意見の長所や短所を整理してまとめている。 ②青果店の立ちのきについて、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、対立から合意に至る方法を多面的・多角的に考察し、自分の立場を明確にして説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第3節</b> <b>法の支配を支えるしくみ</b></p> <p>◇節の問い◇ <b>日本国憲法では、なぜ国の統治について規定しているのだろうか。</b></p>	<p>&lt;第3節のねらい&gt; 我が国では日本国憲法が最高法規であり、日本国憲法に基づく政治によって、国民の自由と権利が守られていることを理解させる。</p>	<p>&lt;第3節の評価規準&gt; ①収集した資料の中から、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ②我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本国憲法が国の統治について規定していることについて、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>		<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年2学期</p>	<p><b>1 権力の分立</b> ◎立法、行政、司法の三権は、どのようなしくみで抑制と均衡を取っているのだろうか。</p>	<p>日本の三権はどのように分立しているのかを理解する。</p>	<p>①三権分立のしくみや意義について理解し、その知識を身につけている。 ②三権の抑制と均衡を機能させるために国民がなすべきことを考え、自分の意見を表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>2 憲法の保障・改正と私たち</b></p> <p>◎日本国憲法では、憲法の保障と改正についてのどのように定めているのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 日本国憲法で規定されてる国の統治に関する大切な考え方を、「権力分立」という言葉を用いて説明してみよう。</p>	<p>日本国憲法では、憲法保障と憲法改正をどのように規定しているかを理解する。</p> <p>◇日本国憲法では、権力分立をどのように規定しているのを理解する。</p>	<p>①日本国憲法から憲法保証や憲法改正について定めている条文を見つけだしまとめている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>* 章の学習を振り返ろう</b></p> <p><b>第2部1章</b></p> <p><b>日本国憲法</b></p> <p>■章の問い■</p> <p><b>政治が日本国憲法に基づいて行われていることにはどのような意義があるのだろうか。</b></p>	<p>章の学習で得た知識を確認し、章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。</p>	<p><b>&lt;第2部第1章の評価規準&gt;</b></p> <p>①人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</p> <p>①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。</p> <p>①日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</p> <p>①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

		<p>見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	
<p><b>第2章</b> <b>民主政治</b></p> <p><b>■章の問い■ 民主政治を発展させるためには、どのようなことが必要なのだろうか。</b></p>	<p>&lt;第2部第2章のねらい&gt;</p> <p>対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割，議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方，国民の権利を守り社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があること，地方自治の基本的な考え方について理解させる。</p> <p>②民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。</p> <p>③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>&lt;第2部第2章の評価規準&gt;</p> <p>①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</p> <p>①議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</p> <p>①国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</p> <p>①地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。</p> <p>②対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。</p> <p>③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>第1節</b> <b>民主政治と私たち</b></p> <p>◇節の問い◇ <b>個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するため、どのようなしくみがあるのだろうか。</b></p>	<p>&lt;第1節のねらい&gt;</p> <p>個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するためには、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解させる。</p>	<p>&lt;第1節の評価規準&gt;</p> <p>①国民の政治参加や国民の意思を政治に十分に反映させるしくみについての資料を適切に調べまとめている。</p> <p>②議会制民主主義を守り、発展させるための関わり方を選択・判断して、適切に表現している。</p> <p>③議会制民主主義が我が国の政治の原則であることに着目して、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3年2学期</p>	<p><b>*学習の前に</b> みんなが暮らしやすい社会をつくってみよう</p> <p><b>1 国民の願いを実現するために</b></p> <p>◎国民の願いを実現するためには、どのようなしくみで決めていけばよいのだろうか。</p>	<p>国民の願いを実現するために、国会はどのような役割を果たしているのかを考える。</p>	<p>②国民の願いに沿った政治を実現するために、国会が果たす役割を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>2 世論とマスメディア</b></p> <p>◎政治においてマスメディアは私たちとどのように関わっているのだろうか。</p>	<p>政治においてマスメディアは、私たちとどのように関わっているのかを考える。</p>	<p>①p71,72「新聞について知ろう」を活用して、複数の新聞の同じできごとの記事を比較し、新聞社による見出しや書き方の違いを読み取りまとめている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>3 政党の役割</b></p> <p>◎政党は政治においてどのような役割を果たしているのだろうか。</p>	<p>政党は政治においてどのような役割を果たしているのかを考える。</p>	<p>①政党の活動について報じた新聞記事やネットのホームページなどを収集し、与党の記事と野党の記事を適切に選択して分類・整理している。</p> <p>②政党が政治に果たす役割について、多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>



令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p><b>4 選挙制度とその課題</b></p> <p>◎国の政治において、選挙はどのように行われているのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するために必要だと思うくみを一つ取り上げ、理由とともに説明してみよう。</p>	<p>日本の政治において、選挙はどのように行われているかを理解する。</p> <p>◇個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するための様々なくみを理解する。</p>	<p>①様々な資料から選挙区制と比例代表制の違いを読み取ったり図表にまとめたりして、現行の選挙制度のしくみや課題について理解し、その知識を身につけている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第2節 国の政治のしくみ</b></p> <p>◇節の問い◇ 国会、内閣、裁判所は、国民主権を守るために、どのような役割を果たすべきなのだろうか。</p>	<p>&lt;第2節のねらい&gt;</p> <p>国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや政党の役割、法に基づく公正な裁判の保障について理解させる。</p>	<p>&lt;第2節の評価規準&gt;</p> <p>①国の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>②国会、内閣、裁判所の国民主権を守るための役割と課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③国の政治のしくみについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>	
<p>3年2学期</p>	<p><b>1 国会の役割としくみ</b></p> <p>◎国会はどのような仕事を、どのようなしくみで行っているのだろうか。</p>	<p>国会はどのような仕事を、どのようなしくみで行っているのかを理解する。</p>	<p>①国会のおもな仕事としくみについて理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②国会で二院制や衆議院の優越が取り入れられている理由を考え、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>2 国会の現状と課題</b></p> <p>◎国会は、法律の制定においてどのような課題を抱えているのだろうか。</p>	<p>国会は、法律の制定においてどのような課題を抱えているかを考える。</p>	<p>①法律制定のしくみや法律を制定する上で国会が抱える課題について理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②「法律ができるまで」の事例から、法律が改正される過程を読み取り、法律制定のしくみについて自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>3 内閣の役割としくみ</b></p> <p>◎国民の要望を実現するために、内閣はどのような役割を果たしているのだろうか。</p>	<p>国民の要望を実現するために、内閣はどのような役割を果たしているのかを理解する。</p>	<p>①議院内閣制のしくみや内閣の役割について理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②p82 図4と図5を比較し、日本の議院内閣制の特色について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>4 行政の役割と課題</b></p> <p>◎現在の行政はどのような課題を抱えているのだろうか。</p>	<p>現在の行政はどのような課題を抱えているのかを理解する。</p>	<p>② p84 公民プラスを活用して、行政改革や規制緩和が進められている背景を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③身近な生活の中から国の行政の仕事を見つけ出し、図2の行政機関に分類している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>5 私たちの生活と裁判</b></p> <p>◎裁判は私たちの生活でどのような役割を果たしているのだろうか。</p>	<p>裁判は私たちの生活のなかでどのような役割を果たしているのかを理解する。</p>	<p>①裁判のしくみや役割、民事裁判と刑事裁判の違いについて理解し、その知識を身につけている。</p> <p>③具体的な事例をもとに、裁判についての関心を高め、裁判を身近なものとしてとらえている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>6 人権を守る裁判とその課題</b></p> <p>◎裁判ではどのように人権が守られているのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ <b>国会、内閣、裁判所の役割について</b></p>	<p>裁判ではどのように人権が守られているのかを理解する。</p> <p>◇国会、内閣、裁判所は国民に対して、どのような役割を果たしているかを考える。</p>	<p>①司法制度改革が進められている背景を調べ、日本の司法制度の課題を整理している。</p> <p>②裁判員裁判の事例をもとに、国民が裁判に参加することの意義や裁判員制度の課題について考え、自分の意見を表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	て、それぞれ「国民」という言葉を用いて説明してみよう。			
	<b>*アクティブ公民裁判の判決を考えよう</b>	実際に起きた事件を題材に、裁判員として自分なりの判決を考える。	②事件の状況、証人の証言をもとに、弁護人と検察官の主張を整理して、刑法のどの規定を適用するかについて、多面的・多角的に考え、主文と判決理由を説明している。 ③裁判員制度が導入されていることを踏まえて、裁判に積極的にかかわろうとしている。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート
<b>第3節 地方自治と私たち</b>  ◇節の問い◇ <b>地方自治や民主政治を発展させるために、私たちはどのような政治参加をすべきなのだろうか。</b>	<b>&lt;第3節のねらい&gt;</b> 地方自治の基本的な考え方について理解し、地方自治を発展させるために、私たちはどのように地方自治体の政治に参加すべきかについて、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	<b>&lt;第3節の評価規準&gt;</b> ①地方公共団体の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取りたり図表などにまとめたりしている。 ②地方自治体の政治と政治参加に関する課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③身近な事例から地方自治体の政治に対する関心を高め、民主政治の基本的な考え方とそれに基づく地方公共団体の政治のしくみについて、意欲的に追究している。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート	
3年2学期	<b>1 地方自治と地方公共団体</b> ◎日本国憲法では、地方自治についてどのように定めているのだろうか。	日本国憲法では、地方自治についてどのように定めているのかを理解する。	①地方分権の動きに向けての具体的な取り組みの事例を収集し、地方分権のメリットとデメリットを分類・整理している。 ②身近な地域の具体的な事例をもとに、地方公共団体の仕事私たちの生活とどのように結びついているかを考え、自分の言葉で表現している。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート
	<b>2 地方公共団体のしくみと政治参加</b> ◎私たちが住む	地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのかを理解する。	①地方の政治と住民との関係を理解し、地方公共団体のしくみについての知識を身につけている。 ②地方の政治で、住民に直接請求権が認め	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのだろうか。</p>		<p>られている理由を考え、自分の言葉で説明している。</p>	
<p><b>3 地方財政の現状と課題</b> ◎地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのだろうか。</p>	<p>地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのかを考える。</p>	<p>①自分が住んでいるまちの歳出・歳入など、自分たちのまちの財政に関する情報を収集・整理している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>4 私たちと政治参加</b> ◎私たちは、どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 地方自治や民主政治を発展させるために、私たちがすべき政治参加について、今できることと、将来すべきことに分けて構想してみよう。</p>	<p>国民が政治に参加する方法について理解する。</p> <p>◇地方自治や民主政治を発展させるためには、国民の政治参加が大切であること理解させる。</p>	<p>②若者の意見を政治に反映させるためにはどうしたらよいかを考え、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>*アクティブ公民</b> 自分が住むまちのまちづくりを考えよう</p>	<p>自分が住むまちのまちづくりを考える。</p>	<p>②自分が住むまちをよりよくするための話し合いで出た意見を、効率、公正などの見方・考え方を働かせて選択・判断して、その実現のための予算案を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>* 章の学習を振り返ろう</b></p> <p><b>第2部2章</b></p> <p><b>民主政治</b></p> <p><b>■章の問い■</b></p> <p><b>民主政治を発展させるためには、どのようなことが必要なのだろうか。</b></p>	<p>章の学習で得た知識を確認し、章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。</p>	<p><b>&lt;第2部第2章の評価規準&gt;</b></p> <p>①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</p> <p>①議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</p> <p>①国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</p> <p>①地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。</p> <p>②対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。</p> <p>③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第3部 経済</b></p>			
<p><b>第1章</b></p> <p><b>市場経済</b></p> <p><b>■章の問い■ 私たちの社会を豊かにするためには、経済にはどのような働きが求められるのだろうか。</b></p>	<p><b>&lt;第3部第1章のねらい&gt;</b></p> <p>対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①身近な消費生活を中心に経済活動の意義，市場経済の基本的な考え方，現代の生産や金融などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。</p> <p>②個人や企業の経済活動における役割と責任，社会生活における職業の意義</p>	<p><b>&lt;第3部第1章の評価規準&gt;</b></p> <p>①身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</p> <p>①市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。</p> <p>①現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。</p> <p>①勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。</p> <p>②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p>と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとさせる。</p>	<p>②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとしている。</p>		
<p><b>第1節</b> <b>私たちの生活と経済</b></p> <p>◇節の問い◇ <b>なぜ市場経済というしくみがあるのだろうか。</b></p>	<p>&lt;第1節のねらい&gt;</p> <p>身近な消費活動を中心に，経済活動の意義を理解させるとともに，価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。</p>	<p>&lt;第1節の評価規準&gt;</p> <p>①市場経済においては，価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し，その知識を身につけている。</p> <p>②経済活動や市場経済の意義について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③経済活動や市場経済の意義について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を解決しようとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>	
<p>3年2学期</p>	<p><b>*学習の前に</b> 身の回りの暮らしと経済について見てみよう</p> <p><b>1 経済活動とお金の役割</b></p> <p>◎私たちの生活の中で，経済活動はどのような役割を果たしているのだろうか。</p>	<p>私たちの生活の中で，経済活動はどのような役割を果たしているかを考える。</p>	<p>①経済活動の役割を理解し，その知識を身につけている。</p> <p>②p109, 110「私たちにパンが届く工程の例」から貨幣とモノ・サービスのやりとりを読み取り，経済活動の役割について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>*アクティブ公民</b> <b>あなたが無人島に漂着したら？</b></p>	<p>無人島での生活をもとに、経済のしくみを理解する。</p>	<p>②経済は分業と交換によって成り立っていることについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>2 お金の使い方と経済の考え方</b> ◎経済活動における「資源の効率的な配分」とはどのようなことなのだろうか。</p>	<p>経済活動において「資源の効率的な配分」とはどのようなことかを理解する。</p>	<p>①日常生活の中から、資源の効率的な配分を行っている事例を見つけ出し、その事例に関する資料を収集し、適切に選択して、読み取ったりまとめたりしている。 ②『アリとキリギリス』の選択について、どんな条件を重視しているかを分析し、それぞれの選択の理由を自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>3 価格の動きと経済</b> ◎市場経済とは、どのようなしくみで成り立っているのだろうか。  ◇節の問いを振り返ろう◇ 市場経済のしくみがある理由を、「分業」と「効率」という言葉を用いて説明してみよう。</p>	<p>市場経済とはどのようなしくみで成り立っているかを理解する。  ◇市場経済のしくみによって、商品が効率的に配分されていることについて理解する。</p>	<p>①市場における価格の決まり方や資源の配分について理解し、その知識を身につけている。 ②p116 図4のグラフから市場価格決定のしくみについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第2節 消費者と経済</b>  ◇節の問い◇ 経済活動を活発にしていくために、私たち消費者はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。</p>	<p>&lt;第2節のねらい&gt; 経済活動を活発にしていくための消費者の役割と責任を理解させるとともに、消費者の保護など消費者をめぐる問題について、政府の取り組みなどを理解させる。</p>	<p>&lt;第2節の評価規準&gt; ①国や地方公共団体は消費者の権利の尊重およびその自立の支援のために、消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し、その知識を身につけている。 ②経済活動を活発にするための消費者の役割や責任について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③個人の消費生活に関する諸問題に着目し、主体的に問題解決しようとしたり、学習</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

		<p>したことを自らの消費生活に生かそうとしている。</p>		
<p>3年2学期</p>	<p><b>1 家計の収入と支出</b> ◎経済のなかで、家計にはどのような収入と支出があるのだろうか。</p>	<p>家計の支出においてはどのような選択が必要かを考える。</p>	<p>②家計の支出において何を重視するかや支払い方法についての適切な選択について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>2 消費生活と流通の関わり</b> ◎企業が生産した商品は、どのようにして私たちの手もとに届けられているのだろうか。</p>	<p>企業が生産した商品は、どのようにして私たちの手もとに届けられているのかを理解する。</p>	<p>①モノやサービスの販売形態が多様化してきている現状とその特色をさまざまな資料を収集し、適切に選択して、読み取ったりまとめたりしている。 ②消費者として、広告について注意しなければならない理由を考察し、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>3 消費者問題と政府の取り組み</b> ◎私たち消費者の権利は、政府によってどのように支えられているのだろうか。  ◇節の問いを振り返ろう◇ 経済活動において消費者が果たす役割や責任について、「自立」という言葉を用いて説明してみよう。</p>	<p>消費者の権利は、政府によってどのように支えられているのかを理解する。  ◇経済活動において、消費者はどのような役割や責任を果たしているかを考える。</p>	<p>①消費者をめぐる問題に対する消費者保護行政のさまざまな取り組みについて理解し、その知識を身につけている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>



令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p><b>*アクティブ公民</b> 一人暮らしにかかるお金を考えよう</p>	<p>一人暮らしを例として、消費において重視する選択の規準を考える。</p>	<p>②住む場所、生活にかかる支出の選択について、希少性に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第3節</b> <b>企業と経済</b></p> <p>◇節の問い◇ 経済を活発にしていくために、企業はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。</p>	<p>&lt;第3節のねらい&gt; 現代の生産や金融のしくみや働きを理解させるとともに、経済を活発にしてい くための企業の役割と責任について考 えさせる。その際、社会生活における職 業の意義と役割および雇用と労働条件 の改善について、勤労の権利と義務、労 働組合の意義および労働基準法の内容と 関連づけて考えさせる。</p>	<p>&lt;第3節の評価規準&gt; ①企業の生産活動や金融に関する資料を、 さまざまな情報手段を活用して収集し、有 用な情報を適切に選択して、読み取ったり、 図表などにまとめたりしている。 ②企業の生産活動や金融にかかわる様々な 事象から課題を見だし、対立と合意、効率 と公正などの見方・考え方を働かせて、多 面的・多角的に考察し、その過程や結果を 適切に表現している。 ③企業の生産活動や金融に関する諸問題に ついて、主体的に問題解決しようとして、 学習したことを社会生活に生かそうとして いる。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>	
<p>3年2学期</p>	<p><b>1 私たちの生活と企業</b> ◎企業は経済活動においてどのような役割を果たし、どのような目的で活動しているのだろうか。</p>	<p>企業は経済活動においてどのような役割を果たし、どのような目的で活動しているのかを考える。</p>	<p>②企業の活動と私たちの生活とのつながりについて、分業と交換の見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>2 企業活動のしくみ</b> ◎企業の活動はどのようなしくみで行われているのだろうか。</p>	<p>企業の活動はどのようなしくみで行われているのかを理解する。</p>	<p>①企業活動の目的や企業の種類、株式会社のしくみについて理解し、その知識を身につけている。 ②日本経済における中小企業やベンチャー企業の役割について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>3 金融のしくみと働き</b> ◎銀行などの金融機関は、私たちの生活においてどのような役</p>	<p>銀行などの金融機関は、私たちの生活の中でどのような役割を果たしているかを理解する。</p>	<p>①直接金融と間接金融を明確にして、金融機関と家計や企業との関係を図表などにまとめている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>割を果たしているのだろうか。</p>			
<p><b>4 企業競争の役割</b> ◎企業競争は、私たちの生活にどのような影響をもたらしているのだろうか。</p>	<p>企業競争は、私たちの生活にどのような影響をもたらすかを理解する。</p>	<p>①企業競争の意義や、健全な企業競争を維持するために行政機関が果たしている役割について理解し、その知識を身につけている。 ②p135「すし業界の激しい競争」や「パン屋を起業しよう④」を活用して、企業競争が生活に及ぼす影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>5 働くことの意義と労働者の権利</b> ◎私たちがよりよい生活を実現するために、労働者の権利は法律によってどのように保障されているのだろうか。</p>	<p>労働者の権利は法律によってどのように保障されているのかを理解する。</p>	<p>①労働者の権利および労働者を守るための法律の内容を理解し、その知識を身につけている。 ②働くことの意義に着目して、労働者の権利が保障されている理由を考え、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>6 労働環境の変化と私たち</b> ◎日本の労働環境は、どのように変化してきたのだろうか。</p>	<p>日本の労働環境はどのように変化してきたのかを理解する。</p>	<p>②非正規雇用に関する資料を収集し、非正規雇用の問題点について整理し、同一労働同一賃金の導入の意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	<p><b>7 企業の社会的責任</b></p> <p>◎現代の社会において、企業にはどのような責任が求められているのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 経済活動において企業が果たす役割や責任について、「消費者」「従業員」「国際社会」という言葉を用いて説明してみよう。</p>	<p>現代社会の中で、企業にはどのような責任が求められているかを考える。</p> <p>◇経済活動において、企業はどのような役割や責任を果たしているのかを理解する。</p>	<p>①身のまわりの「環境に優しい」製品を見つれたり、新聞などから企業の社会貢献活動の事例を見つれたりして、図表などにまとめている。</p> <p>②企業に求められている社会的責任、市場への責任、国際社会への責任について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>*アクティブ公民 企業の企画書を完成させよう</b></p>	<p>自分が起こしたい企業の企画書を完成させる。</p>	<p>①起業のための企画書づくりについて、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第4節</b> <b>これからの日本経済</b></p> <p>◇節の問い◇ <b>世界経済の変動の中で、日本経済にはどのようなことが求められているのだろうか。</b></p>	<p>&lt;第4節のねらい&gt;</p> <p>「現代日本の特色」についての学習と関連付けながら、グローバル化の進行により、日本経済が世界経済の影響を強く受けていることを理解させるとともに、これからの日本経済の発展のために必要なことを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>&lt;第4節の評価規準&gt;</p> <p>①日本経済における世界経済の影響に関する資料を、さまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>②日本経済の発展のためにこれからの日本企業に求められることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③グローバル化が進行する中、日本経済の発展について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>		<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>3年2学期</p>	<p><b>1 景気の変動とその影響</b></p> <p>◎景気の変動は企業や私たちの生活にどのよう</p>	<p>景気の変動とはどのようなもので、企業はそれにどのように対応しているのかを理解する。</p>	<p>①景気変動による企業や私たちの生活への影響について理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②不況のときにとるべき企業の対応につい</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>な影響を与えているのだろうか。</p>		<p>て、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
<p><b>2 日本銀行と金融政策</b> ◎日本銀行は日本経済の中でどのような役割を担っているのだろうか。</p>	<p>日本銀行は、日本経済の中でどのような役割を果たしているかを理解する。</p>	<p>①p148 図3から日本銀行と一般の銀行、企業、家計、政府との関係を読み取り、日本銀行の中央銀行としての役割について理解し、その知識を身につけている。 ②デフレ対策としての金融緩和が家計や企業に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>3 グローバル化と日本経済</b> ◎グローバル化の進行は企業や私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<p>経済のグローバル化の進行は、企業や私たちの生活にどのような影響を与えているかを考える。</p>	<p>①経済のグローバル化がもたらす企業や私たちの生活への影響を、メリットとデメリットに分類して整理している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>4 これからの日本の経済と私たち</b> ◎日本の経済において、将来に向けてどのような動きが見られているのだろうか。  ◇節の問いを振り返ろう◇ 世界経済が変動するなかで、日本が経済発展していくために重要だと思う取り組みを一つ取り上げ、理由とともに説明してみよう。</p>	<p>これからの日本の産業が成長していくためには、どのような取り組みが必要かを考える。  ◇世界経済が変動する中で、日本経済が発展していくための取り組みを考える。</p>	<p>②経済活動のデジタル化やAIの普及などが進むこれからの社会において、日本の産業が成長していくために必要な取り組みを考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p>* 章の学習を振り返ろう</p> <p>第3部1章 市場経済</p> <p>■章の問い■ 私たちの社会を豊かにするためには、経済にはどのような働きが求められるのだろうか。</p>	<p>章の学習で得た知識を確認し、章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。</p>	<p>&lt;第3部第1章の評価規準&gt;</p> <p>①身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</p> <p>①市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。</p> <p>①現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。</p> <p>①勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p>第2章 財政</p> <p>■章の問い■ 国民の生活と福祉の向上を図るために、政府はどのような役割を果たすべきなのだろうか。</p>	<p>&lt;第3部第2章のねらい&gt;</p> <p>対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。</p> <p>②市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考</p>	<p>&lt;第3部第2章の評価規準&gt;</p> <p>①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。</p> <p>①財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

		<p>察，構想し，表現させる。また，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現させる。</p> <p>③国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>③国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	
3年2学期	<p><b>1 私たちの生活と財政</b></p> <p>◎市場経済において，政府はどのような役割を果たしているのだろうか。</p>	<p>市場経済において，政府はどのような役割を果たしているのかを考える。</p>	<p>②政府が提供するモノやサービスと民間企業が提供するモノやサービスを比較し，経済活動における財政の役割について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>2 国の支出と収入</b></p> <p>◎政府はどのようにお金を集め，どのようなことに使っているのだろうか。</p>	<p>政府はどのようにお金を集め，どのようなことに使っているのかを理解する。</p>	<p>② p 160 公民プラスを活用して，累進課税を強化するという考え方の是非を効率と公正に着目して分析し，税制度のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
	<p><b>3 社会資本の役割と環境への取り組み</b></p> <p>◎私たちの生活をよりよくするために，国や地方公共団体はどのような社会資本を整備しているのだろうか。</p>	<p>私たちの生活をよりよくするために，国や地方公共団体はどのような社会資本を整備しているのかを理解する。</p>	<p>②公共事業について具体的な事例を取りあげ，対立と合意，効率と公正の視点から今後の社会資本のあり方を考え，自分の意見を表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>*アクティブ公民</b> <b>赤字バス路線に税金を使うべきか？</b></p>	<p>赤字路線バスを巡る住民の対立からよりよい合意に至る税金の使い道を市長の立場から選択する。</p>	<p>②税金の使い方の選択について、市長の立場から効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>4 社会保障と私たちの生活</b> ◎日本の社会保障制度には、どのような課題があるのだろうか。</p>	<p>社会保障制度にはどのようなものがあり、これからはどうあれば良いのかを考える。</p>	<p>①日本の社会保障制度の四つの柱の基本的な内容について理解し、その知識を身につけている。 ②少子高齢化が進む日本における社会保障制度の課題を見だし、自助、共助及び公助が最も適切に組み合わせられる社会保障のあり方を考え、自分の意見を表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>5 これからの日本の財政</b> ◎少子高齢化が進むなかで、これからの日本の財政はどうあるべきなのだろうか。</p>	<p>少子高齢化が進むなかで、これからの日本の財政はどうあるべきかを考える。</p>	<p>①「大きな政府」「小さな政府」という考え方について、それぞれのメリットとデメリットを整理しまとめている。 ②財源の確保と配分について、効率と公正、希少性に着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>*章の学習を振り返ろう</b> <b>第3部2章 財政</b>  <b>■章の問い■</b> <b>国民の生活と福祉の向上を図るために、政府はどのような役割を果たすべきなのだろうか。</b></p>	<p>章の学習で得た知識を確認し、章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。</p>	<p><b>&lt;第3部第2章の評価規準&gt;</b> ①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ①財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

第4部 国際			
<p><b>第1章</b> <b>国際社会</b></p> <p><b>■章の問い■ 世界平和と人類の福祉の増大を実現するために、国際社会はどのようなことができるのだろうか。</b></p>	<p>＜第4部第1章のねらい＞</p> <p>対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。また，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの現代社会に見られる諸課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解させる。</p> <p>②日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。</p> <p>③世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>＜第4部第1章の評価規準＞</p> <p>①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。</p> <p>①地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。</p> <p>②対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。</p> <p>③世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>



令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>第1節</b> <b>紛争のない世界へ</b></p> <p>◇節の問い◇ <b>国際社会</b> <b>においては、どのような</b> <b>国際協調が必要なのだ</b> <b>らうか。</b></p>	<p>&lt;第1節のねらい&gt;</p> <p>国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。</p>	<p>&lt;第1節の評価規準&gt;</p> <p>①国際協調のあり方や国際機構の役割について理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力について、課題を見いだし、対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい国際協調のあり方を考えようとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>	
<p>3年3学期</p>	<p><b>*学習の前に</b> 「持続可能な社会」を目指していくために</p> <p><b>1 国家と国際社会</b> ◎国際社会にはどのようなルールがあるのだろうか。</p> <p><b>2 領土を巡る取り組み</b> ◎現代の日本では、領土を巡ってどのような動きがあるのだろうか。</p> <p><b>3 国際連合の働きとしくみ</b> ◎国際連合は国際社会の中で、どのような役割を果たしているのだろうか。</p>	<p>国際社会にはどのようなルールがあるのかを考える。</p> <p>現代の日本では、領土をめぐるどのような動きがあるのかを理解する。</p> <p>国際連合は国際社会の中で、どのような役割を果たしているのかを理解する。</p>	<p>①主権国家の定義や国どうしのルールについて理解し、その知識を身につけている。</p> <p>①歴史的分野の学習を生かして、北方領土、竹島、尖閣諸島についての歴史的経緯を調べ、日本の固有の領土であることを整理しまとめている。</p> <p>①協調、持続可能性に着目して、国際連合の働きとしくみ、国際連合における日本の貢献について理解し、その知識を身につけている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p> <p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p> <p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>4 現代における紛争</b></p> <p>◎地域紛争をなくし、平和を実現するうえで、どのような課題があるのだろうか。</p>	<p>地域紛争をなくし、平和を実現するうえで、どのような課題があるのかを考える。</p>	<p>①紛争が起こっている地域の現状について、具体的な事例を取り上げて、さまざまな資料を収集し選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>②地域紛争やテロリズムの背景と再発防止の努力について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>5 兵器の脅威と軍縮への努力</b></p> <p>◎核兵器や軍縮を巡る状況は、どのように変化してきたのだろうか。</p>	<p>核兵器や軍縮を巡る状況は、どのように変化してきたかを理解する。</p>	<p>②協調、持続可能性に着目し、軍縮や平和的外交の必要性について多面的・多角的に考察し、自分の言葉で説明している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>6 グローバル化が進む国際社会</b></p> <p>◎現代の国際社会にはどのような課題があるのだろうか。</p>	<p>現代の国際社会にはどのような課題があるのかを理解する。</p>	<p>①おもな地域機構の役割と現状について理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②p184 図3から、地域機構ごとの経済格差の現状について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>7 国際社会における日本の役割</b></p> <p>◎唯一の被爆国であり、平和主義を掲げる日本は、国際社会でどのような役割を果たすべきなのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 国際社会において、国際協調が必要な理由を、「紛争」「平和」という</p>	<p>唯一の被爆国であり、平和主義をかかげる日本は、国際社会でどのような役割を果たすべきかを考える。</p> <p>◇国際平和の実現のために、国際協調が必要である理由を考える。</p>	<p>①p185 図1と図2を比較し、自衛隊による国際貢献のあり方の違いを読み取りまとめている。</p> <p>②国際平和を実現するための日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、これからの日本の安全と防衛および国際貢献のあり方について自分の意見を表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

	言葉を用いて説明してみよう。			
	<b>* アクティブ公民</b> 日本は難民をどう支援していくべきか？	難民の受け入れや難民の支援のあり方を考える。	②難民の受け入れについて、協調などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート
<b>第2節</b> <b>貧困解消と環境保全</b>  ◇節の問い◇ <b>地球規模の社会的課題を解決していくために、どのような国際協調が求められるのだろうか。</b>	<b>&lt;第2節のねらい&gt;</b> 貧困, 地球環境, 資源・エネルギーなどの地球規模の社会課題に対して, その現状と背景を理解し, 解決のために求められる国際協調について, 多面的・多角的に考えさせる。	<b>&lt;第2節の評価規準&gt;</b> ①温室効果ガスの削減に向けての国際的な取り組みと課題, 日本の対応について理解し, その知識を身につけている。 ②地球環境, 資源・エネルギー, 貧困などの課題について, 対立と合意, 効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現している。 ③地球温暖化防止に対する国際社会とわが国の取り組みに関心を持ち, 自分たちが協力できることを考えようとしている。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート	
3年3学期	<b>1 貧困問題とその解消</b> ◎世界の貧困問題の解消に向けて, 国際社会ではどのような取り組みが進められているのだろうか。	貧困問題の解消に向けて, 国際社会でどのような取り組みが進められているかを理解する。	①貧困問題の現状や背景を踏まえて, 国際社会では解消に向けてどのような取り組みが進められているかを理解し, その知識を身につけている。 ②貧困問題の解消に向けての国際社会は何をなすべきか, 協調などの見方・考え方を働かせて, 多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>2 地球規模で広がる環境問題</b> ◎地球温暖化防止について、国際社会ではどのような取り組みが進められているのだろうか。</p>	<p>地球温暖化防止について、国際社会ではどのような取り組みが進められているのかを理解する。</p>	<p>①温室効果ガスの削減に向けての国際的な取り組みと課題、日本の対応について理解し、その知識を身につけている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>3 資源・エネルギー問題</b> ◎省資源・省エネルギーのために、国際社会の中で日本はどのように取り組んでいけばよいのだろうか。</p>	<p>省資源や省エネルギーに、日本はどのように取り組んでいけばよいのかを考える。</p>	<p>②再生可能エネルギーだけでは必要な電力供給が十分ではない現状を踏まえ、資源やエネルギーの確保について、効率と公正、希少性、持続可能性などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>4 国際社会のよりよい発展</b> ◎「誰一人取り残さない」社会を実現していくために、国際社会はどのような取り組みをすべきなのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 地球規模の社会的課題を解決していくために、どのような国際協調が求められているか、「持続可能性」という言葉を用いて説明してみよう。</p>	<p>「誰一人取り残さない」社会を実現していくために、国際社会はどのような取り組みをすべきかを考える。</p> <p>◇地球規模の社会的課題を解決するために、どのような国際協調が求められているかを考える。</p>	<p>②SDGsを達成するために求められる国際協調のあり方について、対立と合意、協調、持続可能性などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

<p><b>* 章の学習を振り返ろう</b></p> <p><b>第4部1章</b></p> <p><b>国際社会</b></p> <p><b>■章の問い■</b></p> <p><b>世界平和と人類の福祉の増大を実現するために、国際社会はどのようなことができるのだろうか。</b></p>	<p>章の学習で得た知識を確認し、章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。</p>	<p><b>&lt;第4部第1章の評価規準&gt;</b></p> <p>①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。</p> <p>①地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>
<p><b>第2章</b></p> <p><b>課題の探究</b></p>	<p><b>&lt;第4部第2章のねらい&gt;</b></p> <p>持続可能な社会を形成することに向けて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探究する活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>②私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述させる。</p> <p>③私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p><b>&lt;第4部第2章の評価規準&gt;</b></p> <p>②社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。</p> <p>③私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート</p>

# 令和5年度 社会科 3年 年間指導計画

3年3学期	<b>1 持続可能な社会を目指して</b> ◎「持続可能な社会」の実現に向けて、私たちはどのように行動すべきなのだろうか。  <b>レポート作成の手順</b>	「持続可能な社会」の実現に向けて、私たちはどのように行動すべきかを考える。		※授業へのとりくみ (発言・話し合い・態度など) ※定期考査 ※プリント ※ノート
-------	--	---------------------------------------	--	---